

# 平成27年度の合格図面の紹介

## 1. A氏の合格図面の紹介

会員(A氏)から、製図合格と御礼メールを頂きました。

研究会から合格図面(手書き復元図)の掲載依頼をしたところ、名前を伏せて公開することの了解を頂きました。手書き復元図は、研究会できれいに図面をトレースし、記述をワープロ化して掲載することとしました(図面は分かりやすいように色分けもしている)。

なお、試験課題は、許諾条件により会員講座内のみでの開示となるので、会員講座「4章 センター標準解答図」を参照下さい。

A氏は、本年が初の製図受験であり、たまたま当研究会のHPを見つけて会員になられました。本年は、当HPのみでチャレンジして、もし不合格であった場合、来年は長期で学校へ通学するとのことでした。図面では、一部面積計算や吹抜け面積の間違い等もあるが、記述はかなり良くできている内容でした。この紹介は、このような図面と記述で「合格」できるということを、皆様にも見て頂きたく、参考にして頂ければ幸いです。

## 2. A氏からのメール

会員(A氏)の方から、メール文をそのまま列記する。

会員の\*\*です。

製図試験が合格となりましたので、ご連絡します。

建築資格研究会の予測図面と記述を丸暗記して試験に臨みました。

基準階の住宅部分と談話ラウンジは、同じような内容で悩まずに書きました。

1階のレストランは、予測された喫茶店をレストランに変更することで簡単にエスキスができました。

また、車寄せ(キャノピー)と一方通行の部分も全く同じように書くことができました。

記述も目標耐震性能にはビックリしましたが、それでも悩まずに書きました。

初受験で合格できたのは奇跡とした言いようがありません。

これも予測課題とかなり類似していることから合格できたと思っております。

本当にありがとうございました。

## 3. A氏の解答への所見

A氏の図面と記述で気づいた点を列記する。

### (1) 図面の気づいた点

- ・1階: 動線は北側(主道路)から利用者用と管理用を分離しているが、管理用通用口が利用者用と動線交錯している。
  - ・2階: 吹抜け空間が約100㎡の10%を超えている。
  - ・2階: 排水PSが記載が抜けている。
  - ・基準階: 屋上庭園が約100㎡の10%を超えている。
  - ・断面図: プレストレストコンクリート梁の上部に柱が来ると、基本的な考え方で架構不適とみなされ減点対象となると推定する。
  - ・面積表: エレベーターの床面積は算入しない条件だが、算入している(ただし除外計算しても要求床面積内となっている)。
- ⇒全体では、上記ミスはあるものの、要求室や特記記載事項の抜けがないので、それなりに完成した図面となっている。

### (2) 記述の気づいた点

- ・建築計画①: 図面でも指摘したが、通用口と利用者との動線交錯は生じる。
  - ・構造計画②: 目標耐震性能の表記が「東日本大震災・・・」の記述で数値「震度7」があった方が望ましい。
  - ・設備計画③: 給排水衛生設備の説明では、「排水」の説明がない。
- ⇒全体では、かなり良く書けている内容である。部分的な減点はあるものの、高得点であったと推定する。